



FLOW VISU
MADE BY SUWAKO NO TAMI

諏訪湖の民

概要

FlowVisu

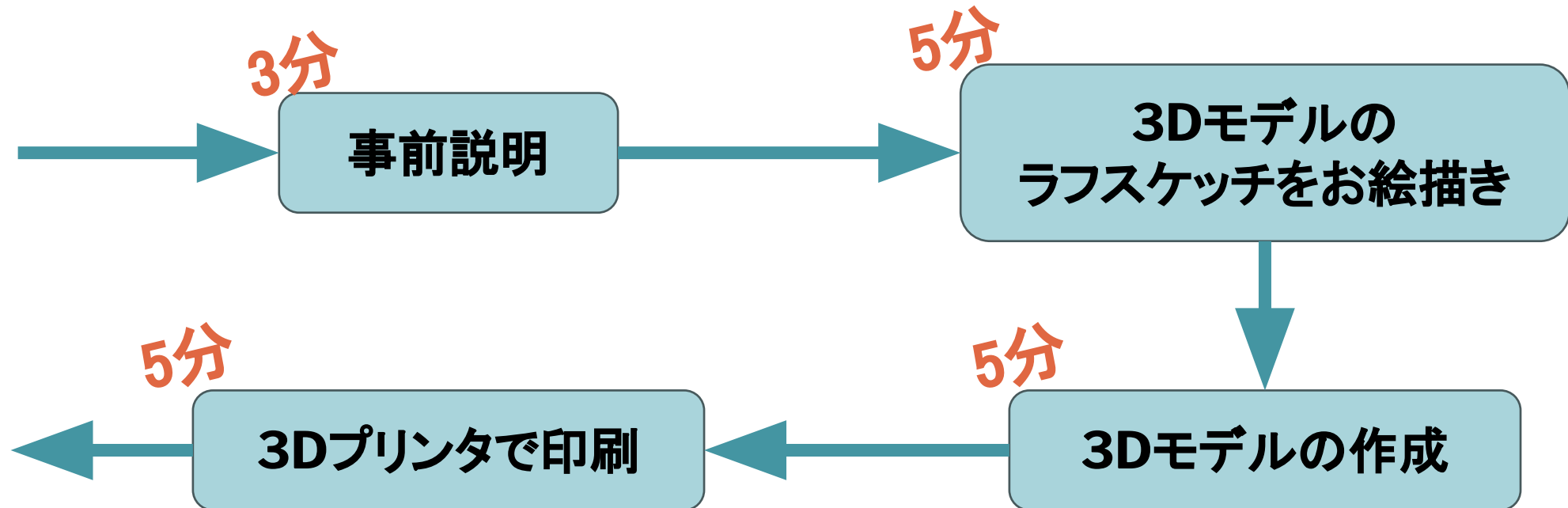
- イベントの人の流れを可視化するシステム
- どのブースにどれくらい
人が留まっているかを見える化する。

制作の動機

- 今日の参加者が、小学生向けのイベントに
学生スタッフとして参加
- そのイベントを円滑に進めるために、
人が長くとどまっているブースが分かるように。

イベントの概要

□ 3Dプリンタ体験イベント



現状の課題

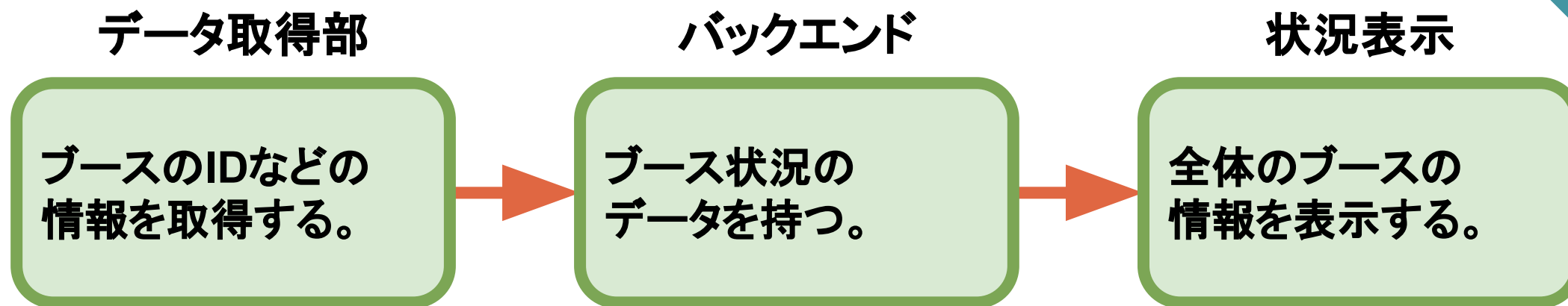
- ついつい楽しくなって、
時間を忘れて制作に没頭してしまう。
- ↑のようなときに、そのブースの人が、
どのくらい時間をかけているかが分からない。

システムの要件

1. 小学生向けのイベントであるため、
参加者が扱いやすいシステムであること。
2. **人の流れを可視化できること。**

実装

全体像



それぞれの構成部分を**APIで接続**し、実装は分離。

APIの形式さえあっていれば、他のサービスからもアクセス可。

要件1

小学生でも使えるように

- ❑ 参加者が持ち歩くワークシートにNFCタグを設置
- ❑ ブースに行って、所定の場所に紙を置けば、
タグを読み取ってブースに参加したトリガーに。
- ❑ 参加者は紙を置くだけ。

技術スタック

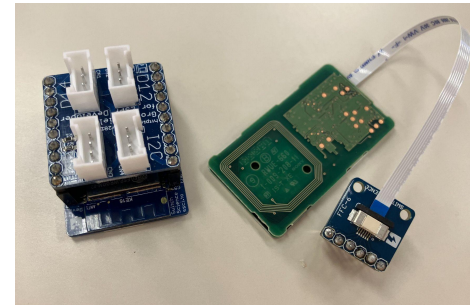
データ取得部

スマホアプリ



Flutter

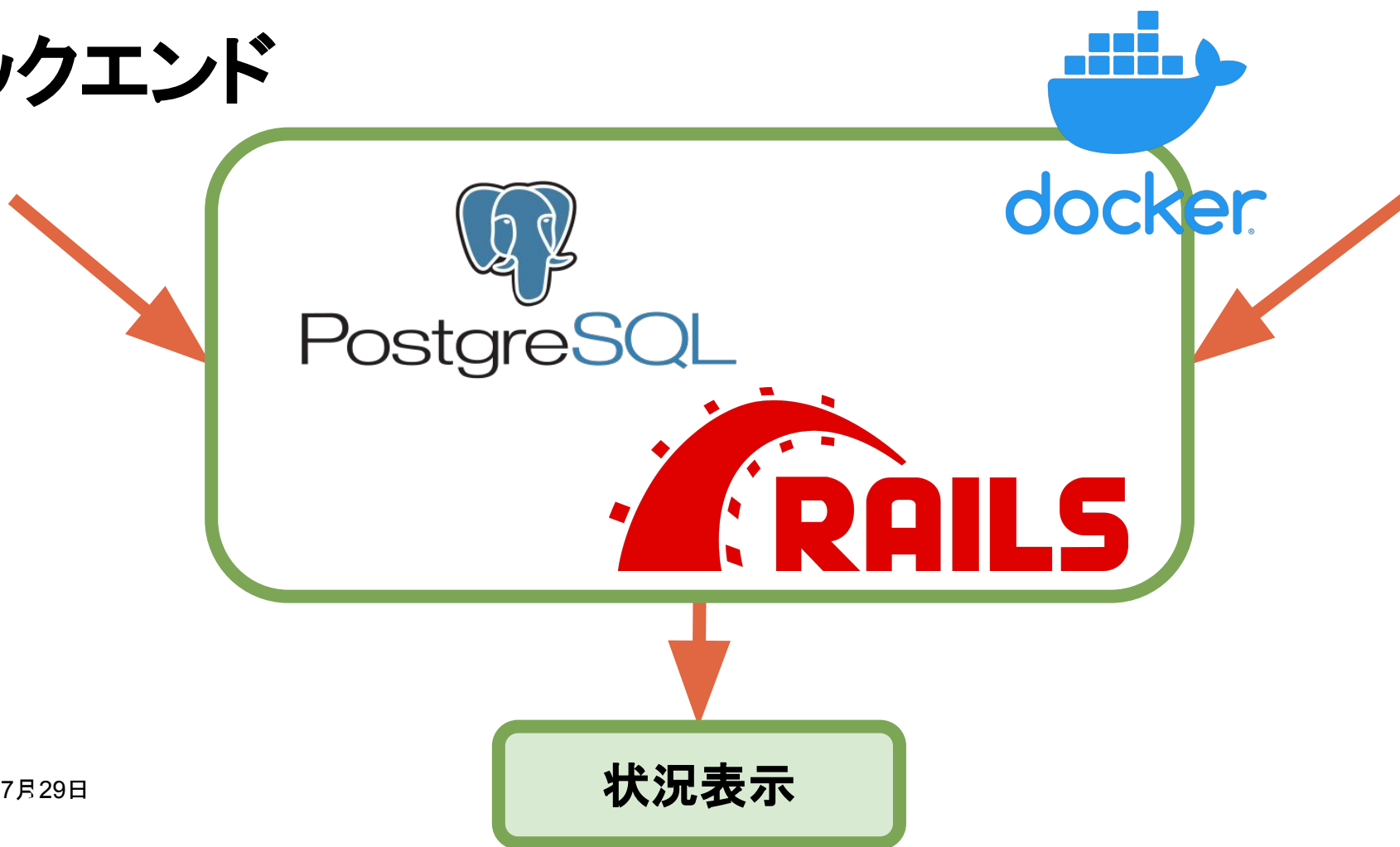
マイコン



バックエンド

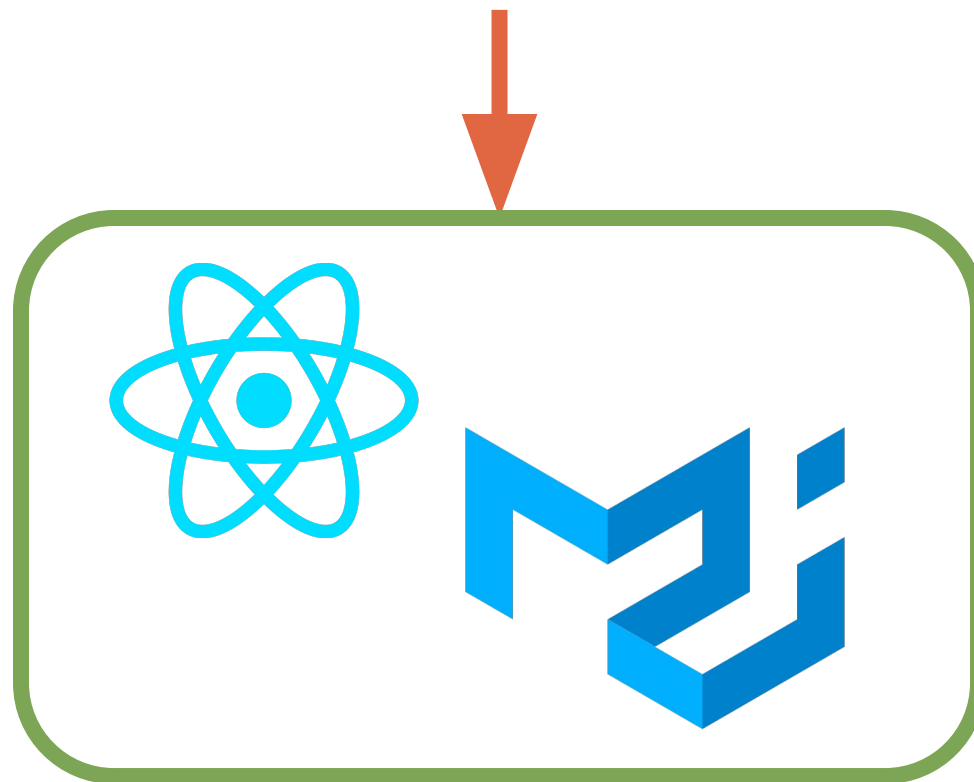
技術スタック

バックエンド



技術スタック

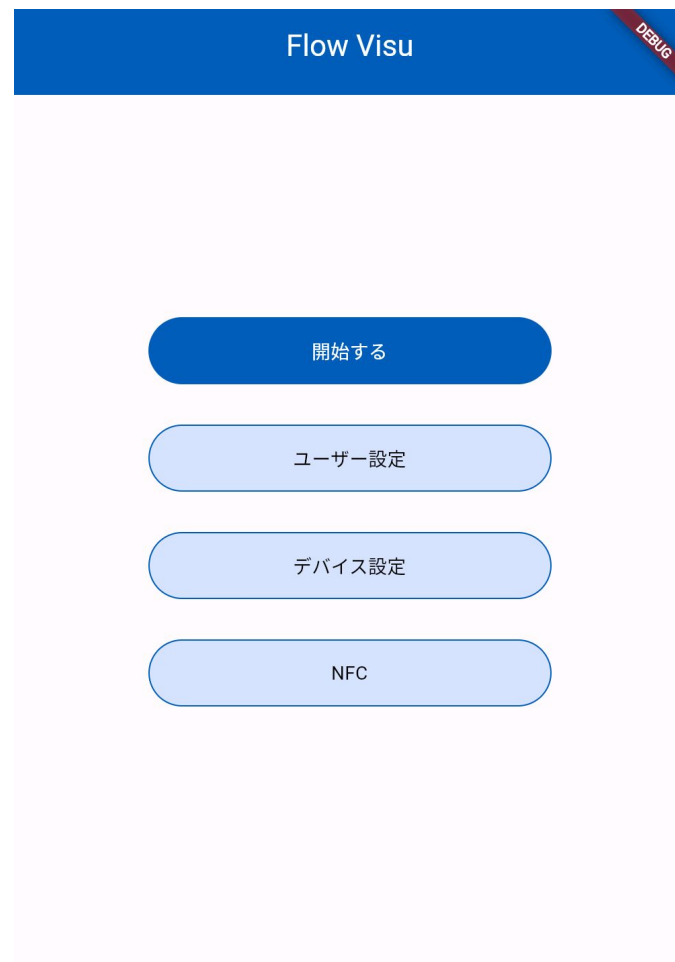
状況表示



デモ画面

データ取得部

Flutterで実装。
マイコンは間に合わず...



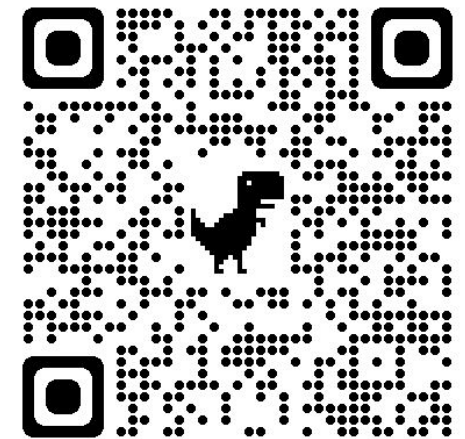
バックエンド

実装ができて、VPSにデプロイした。

けど、データ取得部と状況表示から繋げなかった...

コードだけでも見ていってください。

GitHubリポジトリ =>



データ表示部

家で作ってきたけど、Gitにpushし忘れて、
再度作成しようとしたけど間に合わず...

全体を通して

チャレンジ！

- ❑ 2人ハッカソン初挑戦、1人が2回目。
- ❑ それぞれの実装箇所を担当の人が、
 - React/Material UI を初めて使った！
 - Flutter を初めて使った！
 - Ruby on Rails を初めて使った！